



丸山晚霞記念館

MARUYAMA BANKA MUSEUM

▲丸山晚霞記念館

## 10月3日は「東御の日」

東御市は昨年、市民憲章、市花・市木・市蝶を制定し、その制定日である10月3日を東御の日としました。「東御の日」には、いくつかの思い、願いが込められています。

- ・未来に輝くまちをつくること、それは市民憲章の願い  
\*「東御の日」は、市民一人ひとりが市民憲章の意義を考える日です。
- ・互いの心と心の通いあい、それは未来の糧  
\*「東御の日」は、市民が互いに理解を深め尊重する日です。
- ・家族で語ろう未来の夢  
\*「東御の日」は、家族の語らい団らんの日です。



(平成19年9月20日・市報とうみおしらせ版抜粋。市では、広報やCATVで東御の日を市民に呼びかけました。)

## 「東御の日」に寄せて」

石川 好一

仰々しい式典も良いだろう。しかし、世界広しといえども「東御の日」を記念日として味わ得るのは、私たち東御市民以外にはいない。

- ・市民ひとり一人の「東御の日」。
- ・わたくしの家庭での「東御の日」。
- ・そして、わたくしたちの地域での「東御の日」：

そんな、ぬくもりのある「東御の日」が市内あちこちに芽吹き、広まることを願っている者の一人である。

## 心豊かな東御市づくりを

目指して



東御市長 土屋 哲男

平成16年4月1日に誕生した東御市も、まもなく4年となります。この間、新たなまちづくりは順調に推移し、東御市の礎が確かな手応えをもってできあがってまいりました。現在、市民が真の豊かさを実感し、元気を世界に発信することができる「誰もが住みたくなる東御市づくり」を目指し、様々な施策を展開しているところでもあります。

それら実現のためには、市民一人ひとりが心豊かに暮らしていくことは不可欠であり、地域の伝統文化を守りながら新たな文化を創造し、生活の中に文化や芸術の薫りがするまちづくりを進めていく必要があります。昨年の11月3日には、地域の悲願であった丸山晚霞記念館が、市文化会館・サンテラスホールの隣に開館の運びとなりました。歌舞伎などの地域の伝統文化が脈々と受け継がれており、また、文化振興に思いを寄せる方々の取り組みも非常に活発な本市において、新たな文化の発信基地になればと期待をしているところでもあります。

貴文化協会の皆様には、日頃から本市の文化振興に多大なるご尽力をいただいております。心から感謝申し上げます。今後とも皆様のお力をお借りしながら、心豊かな東御市づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## 新会長挨拶



文化協会会長  
 員 甚一郎

この度、故土屋征志郎前会長の後を引継ぎました。自分にも若輩者でございますので先輩諸氏のご指導を仰ぎながら、更なる発展に向けまい進して行く所存でございます。どうか宜しくお願い申し上げます。

さて、東御市文化協会は発足して満三十四年となりました。今や文化活動はライフスタイルの一部として無くてはならない位置付けとなっております。その中で、協会としましては数多くあります各グループの活動が楽しく・円滑に運営されますことを願っておりますが、近年の傾向と致しまして高齢化が進んでおり、文化の継承面からも特に若い人、更に団塊世代の皆様等のご入会をお待ちしております。

文化活動の運営・継続に当たり、行政サイドのご支援に対し、この場をお借りし御礼をさせていただきます。

## 土屋征志郎さんを偲ぶ

文化協会副会長 栗原 陽子

「土屋さんが倒れ、意識が戻らない。奥様からの連絡をそう理解するまでに、どれだけ時間がかかったことでしょう。会長に就任され決意も新たに出發されたばかり。まさに晴天の霹靂でした。

土屋さんは平成十一年監事に、十三年からは副会長として六年間福島会長を支えて来られました。几帳面な反面、冗談で場を和ませてくれる気配りの人でもありました。

地域の合唱の草分けとして活動された土屋さんですが創設以来心血を

注がれた「とうみ混声合唱団」が25周年を迎えた記念コンサート（17年7月）では心の底から楽しみ、歌い、踊る姿がありました。今後

ゆつくりとご自身の合唱人生の総仕上げをされるはずでありましたのに、残念でなりません。ステージの袖から土屋さんが登場しそんな錯覚を感じながら今後の発表会を聴かせていただくつもりです。



ありし日の土屋さん

## 素晴らしいわがまちの文化活動



東御市公民館長  
 今泉 正毅

実りの秋、美しい彩りと薫り高い菊花展をはじめ、書画関係、音楽関係、茶・華道関係、工芸関係、文学関係、史学関係等様々な文化の、「つくる・表現する・たのしむ」活動の本年度の成果に触れさせていただく時期になりました。市全体としては勿論、各区分館や各地区でも立派な成果です。

書画等の制作や音楽の演奏等に打ち込まれた一人一人の方が自分の生きがいを感じることができただけでなく、共に学び合う学友がお互いの生き方を深めたり、地域の結びつきや底力を広げる大事な役割に貢献されております。

我がまちの子ども達も幸せになり、住民が敬愛しあう優しい心を一層育む文化の振興のためにも、文化協会及び各部会のいよいよのご活躍、ご尽力をご期待申し上げます。

## 平成19年度東御市文化協会 功労賞表彰受賞者

四月十九日総会の式典において文化振興に尽くされた功績により左記の方が受賞されました。

功労賞表彰受賞者

川柳 柳橋スミエ

思いがけず此のたびはこのような立派な賞を頂戴致しまして誠にありがとうございます。

これもみな一重に文化協会の皆様及び関係者各位又すばらしい仲間の皆様に支えられてここ迄来られました事、深く深く感謝致しております。

観みますとご厄介になってからアツという間に二十数年が夢のように流れておりました。

これを機にこれからも初心に還ったつもりで続けさせて戴きたいと思っております。

今後とも御指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

柳津滝ノ沢

柳橋スミエ



## 会長に貢さん 東御市文化協会臨時総会

東御市文化協会はこのほど臨時総会を同市中央公民館で開き、規約の一部改正と新役員承認を行った。

土屋征志郎会長の急逝で欠員となっていた会長に貢甚一郎さん(音楽部会)、副会長兼務から独立させた会計に高木友子さん(合唱部会)を選出。あいさつで貢新会長は「体制を何とか建て直し、協会発展のため努力したい」と決意を述べた。

副会長は小林泉さん(カラオケ部会)、栗原陽子さん(書道部会)。監事は塚田悦郎さん(棋道部会)、松本房子さん(華道部会)。



## 会員の想いが実った発表会

カラオケ部会会長 都 あんり

前年度の小林泉会長より引き継ぎ大役に不安で一杯でしたが、前会長、役員のお力を借り行う事が出来ました事感謝申し上げます。八月二十六日文化会館サントラスホールに於いて、第十二回の発表会を土屋市長、市議会議長、文化協会長をお迎えし盛大な中にも和やかに行われました。皆さん緊張の中にも精一杯頑張って唄う姿が素敵でした。いつかはサントラスを合言葉に百八十五名の大きな会になるとは想像もしていませんでした。あの大きなステージで唄うという事は勇気のいる事です。その経験は日常の生活の中でも力になると思います。御尽力を尽くされてる先生方ありがとうございます。カラオケ部会の益々の御発展をお祈り致します。



## 東御美術会テーマ展「門」について

東御美術会会長 荻原 芳雄

東御美術会が発足して今年で五十七年になります。そしてテーマ展は平成八年「東部町百景展」から始め今年で十一回を迎えました。我々美術会は絵の好きな者の集まりで、成すべきことと言えば、自分の好きな絵を自由に描くことであり、お互い同じ目的を持って取り組みそしていつも挑戦の気持ちで少しでも技術の向上のため努力しております。

その点テーマを設けて描くことはすごく意義深いものであり技術錬磨の精進に欠かせないものだと思います。これからも諸先輩方の地域に対する絵画の理解や愛好の精神を培った業績を守り更に絵画の発展のためそして地域の芸術文化の向上に少しでも寄与出来ればと思っております。



## 吟行の「コマ



女子匠の時の支那の文類も  
所成の流れは... 丁巳 冬 吟

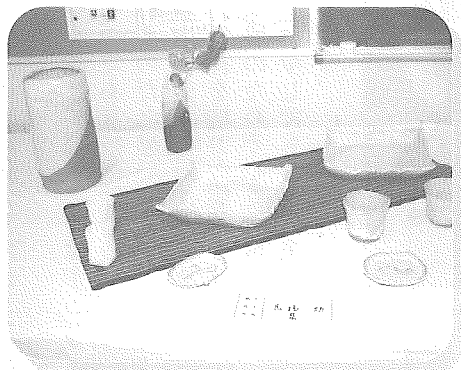
人さまの... 東...  
日つづつ... 東...

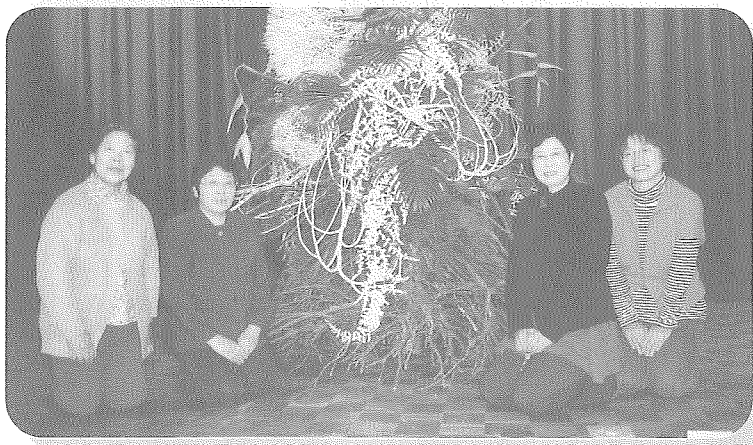
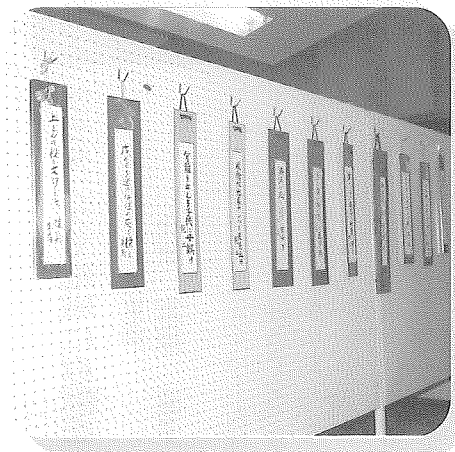
山がけの石仏あまた苔むして  
薊一輪みまへに咲く  
辛株



# 平成19年度 東御市総合文化フェスティバル

第4回 11月1日～4日 中央公民館







### 合唱部会

#### 混声合唱 第13回定期演奏会 土屋征志郎さんを しのんで

代表 庄村 茂

去る7月14日、大勢の皆様方のご来場をいただき、第13回とうみ混声合唱団定期演奏会を無事開催できましたこと、心より感謝と共にお礼を申し上げます。

去る5月2日に団員の土屋征志郎さんが急逝され、お別れを込めた演奏会でした。

あまりにも突然でした。倒れられた2日前の男性特別練習にも、先頭をきって積極的に練習されていた姿を今でもはっきり覚えています。合唱団創設から27年、団の活動と共に、地域はも



とより東信地区さらには長野県の合唱活動の発展にご尽力され、貢献された素晴らしい方でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

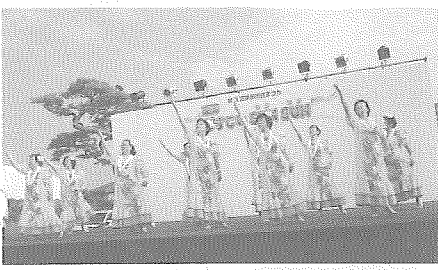
### ダンス部会

#### フラダンスで地域に貢献を フラブルメリア東御

代表 宮原 直子

フラブルメリア東御はシルバー人材センターのフラダンス同好会です。結成して今年で四年ほどになります。会員は17名です。

佐久市の真次トシ江先生を講師に月二回の練習を和気相合と楽しく励んでおります。フラダンスはゆっくりとした動きのように見えますが、かなりの運動量になり気持ちの良い汗が流せます。フラの音楽にのって踊るダンスに心がいやされ、すっかり魅了されています。年令に関係なく普段着ることのできない派手なドレスも着られ着持ちが若くなります。最高年令は83歳の人ですがとつても若いです。やっぱりフラダンスを踊っているからだと思います。



今迄に各種催し会場のアトラクションで発表の機会をいただいたり、地域の老友会の席などで披露をし喜ばれることが励みになっています。

これからも地域の皆様にフラダンスを通じて貢献して行きたいと思っております。ボランティアみんなの笑顔に会いたくて――

### 書道部会

#### 潮の香と良寛様と

代表 山岸 一郎

書道部会恒例の研修旅行、今年は越後の良寛を訪ねた。中越沖地震の三か月後で、未だ青いシートに覆われた屋根もかなり見かけた。

10月19日、まずまずの天候に恵まれ、出雲崎の良寛記念館をはじめ、国上山の五合庵付近を見学して回り、最後は大河津分水地点にある比田井天来揮毫の大きな「信濃川治水紀功碑」を観た。その間寺泊で買物をしたり、温泉宿では豊かな海の幸を味わった。良寛の書と人を学んだ有意義な一日であった。



### 郷土史部会

#### 初拓本展 サンテラスにて開催

代表 瀬田 忠雄



▲市長室に雷電の碑文拓本を郷土史部会(土田拓心会)より寄贈

今回郷土史部会並びに拓心会上田支部との協力で、市内の拓本を始め、歴史的に珍しい作品を文化会館で展示公開されました。当初の懸念をよそに、大勢の方に見に来て頂き、開催者側と致しまして、感謝する次第です。

来館者の皆様方には、今まで知らなかった地域の歴史を知る事が出来、大変勉強になったと喜んで頂きました。この機会に、もっと自分が住んでいる地域を深く勉強してみたいと言う意欲的な方まで現れ次回の開催も望まれました。

拓本の実演も好評で、観音の拓本を後日うら打ちし、家に飾りましたとの、お礼のお電話まで頂きました。

詩吟部会

流麗で格調ある  
吟声を目指して

代表 関 誠

聖風流吟道会の温州大会を編集委員が取材を兼ねて、6月24日聞かせて頂きました。まず驚いた事に声の大きき、腹に底にまで響き渡るような声の張り、わずか七言絶句の漢詩がまるで生き生きと胸にしみ渡る感じがし、その合間に詩舞、剣舞が行われつついつい最後まで鑑賞させて頂いた。

聞けばこの会は各班に分れ月二度の練習を積み各人は毎日独特の発声練習とうがいを励行しているとの事。

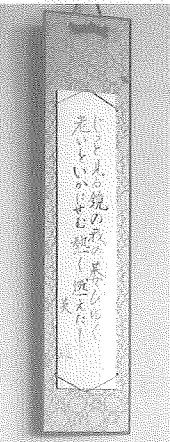
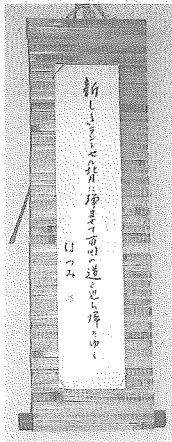
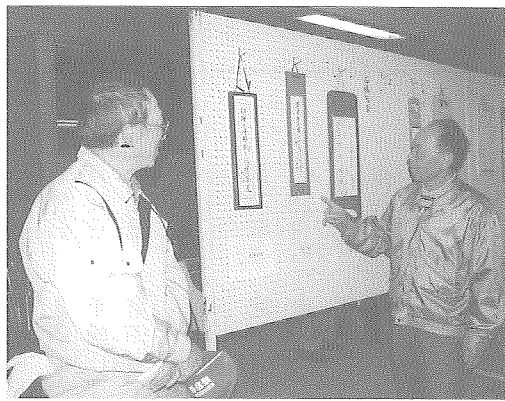
八十を過ぎの会員の方の澄み渡る格調のある声の秘密の一端をうかがわせました。今年は二度の発表会をすでにこなし、11月10日には東京武道館で東北信の会員と共に、「合吟」に参加して披露すると頑張っていました。



ほめあいギャラリー  
について

東御市福祉センターのギャラリーにおいて各月ごと展示される作品群は絵画あり書道あり写真展あり短歌あり広く活動させて頂いております。高藤俊幸さんの御尽力により今日まで続けさせて頂いております。機会を見てお出かけ下さい。

編集部



平成 19 年度

第 4 回 東御市菊花展受賞者



- |              |       |
|--------------|-------|
| 市長賞          | 五十嵐淳子 |
| 議長賞          | 依田 敕  |
| 教育委員長賞       | 高木 貞夫 |
| 菊花会長賞        | 中内 文江 |
| 公民館長賞        | 内堀 勲六 |
| 文化協会長賞       | 竹内 進  |
| 商工会長賞        | 別府 俊男 |
| JA信州うえだ組合長賞  | 小林 孝子 |
| 八十二銀行田中支店長賞  | 柳沢 廉  |
| 上田信用金庫東部支店長賞 | 寺西 英一 |
| 菊花会特別賞       | 寺田 泰明 |

短詩型(文学祭受)賞者

平成 19 年度 第 4 回東御市短詩型文学祭受賞者一覧(理事者賞・特選)

短歌の部入賞者

- |         |       |
|---------|-------|
| ◆市長賞    | 有賀 静子 |
| ◆教育委員会賞 | 岩井 キヨ |
| ◆公民館長賞  | 岩崎 キク |
| ◆文化協会長賞 | 柳沢 澄江 |
| ◆特選     |       |
| ☆小山 豊選  | 有賀 静子 |
| ☆中島雅子選  | 岩井 キヨ |
| ☆宮澤 涉選  | 有賀 静子 |

俳句の部入賞者

- |         |       |
|---------|-------|
| ◆市長賞    | 清水 恵子 |
| ◆教育委員会賞 | 深町てる子 |
| ◆公民館長賞  | 岩下千代子 |
| ◆文化協会長賞 | 三浦 雅子 |
| ◆特選     |       |
| ☆上澤樹寛人選 | 深町てる子 |
| ☆国見 敏子選 | 三浦 雅子 |
| ☆瀧澤 宏司選 | 岩下千代子 |

川柳の部入賞者

- |         |       |
|---------|-------|
| ◆市長賞    | 関 真嶺  |
| ◆教育委員会賞 | 藤井 昇  |
| ◆公民館長賞  | 大日向紋子 |
| ◆文化協会長賞 | 福島 友子 |

現代詩の部入賞者

- |         |       |
|---------|-------|
| ◆市長賞    | 宮坂 春代 |
| ◆教育委員会賞 | 諸山 照男 |
| ◆公民館長賞  | 栗原 陽子 |
| ◆文化協会長賞 | 鳴沢サト子 |

# 平成19年度 東御市文化協会役員名簿

会 長	貢 甚一郎
副 会 長	小林 泉
副 会 長	栗原 陽子
計 画 課	高木 友子
監 事	塚田 悦郎
監 事	松本 房子
絵 画 部 会	高藤 俊幸
水 墨 画 部 会	保科 清
写 真 部 会	土屋 孝吉
書 道 部 会	山 岸 一 郎
彫 刻 部 会	近 喰 和 夫
民 謡 部 会	船 田 利 明
舞 踊 部 会	上 原 け さ え
詩 吟 部 会	関 誠
謡 曲 部 会	福 島 慎 雄
合 唱 部 会	庄 村 茂
華 道 部 会	細 山 城 子
茶 道 部 会	早 川 み ど り
手 芸 部 会	高 橋 美 也 子
ち ぎ り 絵 部 会	佐 藤 充 子
人 形 部 会	桜 井 き よ
菊 花 部 会	寺 田 泰 明
短 歌 部 会	馬 詰 芳 枝
俳 句 部 会	塩 野 入 靖 夫
陶 芸 部 会	青 木 一 夫
音 楽 部 会	竹 田 和 美
ダ ンス 部 会	荻 原 剛
棋 道 部 会	塚 田 悦 郎
文 芸 創 作 部 会	出 浦 洋 三
籐 手 芸 部 会	橋 本 き み 糸
邦 楽 部 会	佐 藤 雄 治
川 柳 部 会	丸 山 孔 男
表 具 部 会	小 林 良 徳
せ せ ら ぎ 部 会	菊 地 登 代 子
カ ラ オ ケ 部 会	都  あ ん り
郷 土 史 部 会	瀨 田 忠 雄

## 平成19年度文化協会のあゆみ

平成19年1月5日

- 1月14日 第3回新春書初め大会（市公民館）
- 2月24日 第15回東御市邦楽発表会（邦楽部会）
- 3月3日 平成18年度東御市合唱祭（合唱部会）
- 3月7日 いきいき生涯学習塾発表会（市公民館）
- 3月10日 第3回水彩画同友会会員展（絵画部会）
- 3月18日 第3回書道部会会員展（書道部会）
- 3月24日 第28回東御市舞踊部会発表会（舞踊部会）
- 3月25日 第57回東御美術会会員展（絵画部会）
- 4月19日 第27回琴伝流大正琴発表会（邦楽部会）
- 6月6日 平成19年度 東御市文化協会総会
- 6月9日 東御市文化協会臨時総会
- 7月14日 第29回拓心会展（拓本）
- 7月24日 第13回とうみ混声合唱団定期演奏会
- 7月29日 第38回温習大会（聖風流東部吟道会）
- 7月29日 第18回日本棋院東御支部東御市文化協会長杯囲碁大会
- 7月29日 第1回音楽部会ホームコンサート
- 8月22日 第1回常任理事会
- 8月26日 第12回カラオケ部会発表会
- 9月21日 役員研修旅行
- 10月13日～10月20日 第11回東御美術会テーマ展
- 10月19日 研修旅行「越後の良寛を訪ねて」（書道部会）
- 10月20日 第25回T.N.S.ジャズオーケストラ定期演奏会
- 10月23日～28日 S.F.C第11回ちいさなちいさな写真展
- 11月2日～4日 総合文化フェスティバル、菊花展（菊花部会）
- 11月24日 第4回東御市短詩型文学祭
- 12月1日 「せせらぎ第26回」発行

## 東御市文化協会役員研修会

9月21日（水）親睦もかね貢新会長はじめ役員、事務局、編集委員総勢二十四名にて（小林古径記念美術館、小川未明文学館、高田公園、春日山神社、林泉寺、埋蔵文化センター）等見学し小林古径記念館では作品群が多く展示され大切に納められておりました。また小川未明の文学館には童話「野ばら」など懐かしく平和の大切さをしみじみ感じた有意義な一日でした。（せせらぎ編集委員）



## 編集後記

文化協会「せせらぎ二十六号」の編集にあたり各部の皆様にご協力賜り何とかここに発行に至りました。心より厚くお礼申し上げます。各部も増えまた精力的にいくつもの部にて活躍なされておられる方々もあり感動でした。今回「東部プリント様」には大変御力添えを頂き編集部一同お礼申し上げます。

編集長 小河原ときほ  
編集委員 掛川国男・木島好江・木村壽枝・斉藤つち子